

国語科 2 年

教科の重点目標 主体的に学習に取り組む態度を育成し、読むこと・書くこと・話すこと・聞くことを通じた課題解決能力の育成につなげる。

	学習指導に関する現状と課題	授業改善のための具体的な取組	補充・発展的な学習指導の計画（具体的な取組の目標値や評価規準等）	今年度の評価（成果と課題）
第2学年	<p>◎授業中の取り組みに関する観点</p> <p>【読むこと・書くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業は、全体的によく取り組んでいるが、難しい問題になると、一部の生徒の取り組み方に課題が残ることがある。 「書くこと」においては、時間内に終わられる生徒が多いが、内容は不十分な点が多々見られる。 問題集やノートの提出に課題が見られる。 <p>【話すこと・聞くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> スピーチテスト、聞き取りテストに関しては全体的に高得点をとることが出来た。 <p>【知識および技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 週に1回、漢字テスト（10問）を実施しているが、取り組みに対する意欲や定着度には個人による開きが出ている。 文法事項は「読み」の単元とも関連付けながら昨年度の復習から実施した、既習内容の定着にばらつきがみられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題の難易度に段階をつけるなどして、継続して指導していく。 継続して指導していく 目的に沿って話し合う、目標を明らかにしてプレゼンテーションをするなど、実践的な活動内容を取り入れて継続して指導していく。 漢字テストについて今後も継続して実施していく。 継続した取り組みの姿勢を作るために、テストの曜日を固定する、毎回の点数を記録し、達成感や目標を立てるきっかけとして利用するなどの指導を行う。 文法について復習プリントやミニテストを活用しながら3学年での学習内容につなげられるよう基礎的な内容の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝読書を推進し、積極的に読書の習慣づけを勧める。 読書感想文を授業の中で取り扱う。 テーマによっては書きたい作品種別（随筆、詩歌、短歌、俳句等）を生徒自身に選ばせるなどして、意欲喚起につなげる。 壁面掲示やコンテストなどを通じ、他の生徒の意見に触れる機会を増やす。 年間3回の漢字検定を実施する。 外部の書道展なども積極的に告知し、参加を呼び掛ける。 	

